

介護老人保健施設アゼリア 令和2年度所定疾患施設療養費(Ⅱ)算定状況報告

年度/月	算定区分	算定疾患名	治療開始日	算定日数	内容	
令和2年	4月	(Ⅱ)	肺炎	4/14	7	投薬:セフカヘン300mg1日3回X7日分 薬剤の選択理由:KT=37°C、左右中下葉肺雑音有 検査:採血(血算 WBC10800、CRP0.63) 薬剤感受性菌培養なし
			尿路感染症	4/1	4	投薬:レボフロキサシン500mg1日1回X4日分 薬剤の選択理由:KT=38~39°C、尿臭強い、右臀部叩打痛有 検査:採血 血算(WBC10000、CRP5.95、感受性検査なし)、検尿(WBC50~99/HF、細菌2+、 薬剤感受性尿菌培養は陰性)
		4/17		7	投薬:レボフロキサシン500mg1日1回X7日分 薬剤の選択理由:排尿痛、頻尿、尿混濁 検査:検尿(RBC30~40/HF、WBC1~4/HF、Bac3)、薬剤感受性尿菌培養なし	
	5月	(Ⅱ)	肺炎	5/11	7	点滴:ポタコールR1000ml×7日分、セフトリアキソン2g・生理食塩水200ml×2日分、セフトリアキソン1g・生理食塩水100ml×5日分 薬剤の選択理由:KT38°C台、右後上中葉肺雑音有 検査:血液検査(血算WBC7400、CRP9.68) 薬剤感受性菌培養なし
				5/19	7	投薬:セフカヘン300mg1日3回X7日分 薬剤の選択理由:KT=37.6°C、後右下葉肺雑音有 検査:採血(血算 WBC9500、CRP11.84) 薬剤感受性菌培養なし
		尿路感染症	5/1	7	投薬:レボフロキサシン500mg1日1回X7日分 薬剤の選択理由:尿混濁、潜血 検査:検尿(Pro4+、潜血3+、RBC10~19/HF、WBC>100、細菌2+)、薬剤感受性尿菌培養	
			5/28	4	投薬:ミノサイクリン400mg1日2回X4日分 薬剤の選択理由:KT=38°C、濃縮尿、浮遊物 検査:検尿(WBC>100、Bac3+)、薬剤感受性尿菌培養なし	
	6月	(Ⅱ)	肺炎	6/1	7	投薬:ミノサイクリン200mg1日1回X1日分、ミノサイクリン100mg1日2回×5日分 薬剤の選択理由:KT=39.7°C 検査:採血(血算 WBC17000、RBC282、Hb8.88、CRP2.97)、薬剤感受性尿菌培養なし
				6/9	2	投薬:セフカヘン300mg1日3回X7日分 薬剤の選択理由:KT=37°C、左右中下葉肺雑音有 検査:採血(血算 WBC10800、CRP0.63) 薬剤感受性菌培養:陰性
		尿路感染症	6/1	2	投薬:ミノサイクリン200mg1日1回×1日分、ミノサイクリン100mg1日1回×1日分 薬剤の選択理由:KT=38°C、濃縮尿、浮遊物有 検査:尿(WBC>100、Bac3+)、薬剤感受性菌培養なし	
			6/2	7	投薬:レボフロキサシン500mg1日1回×7日分 薬剤の選択理由:KT=38.1°C 検査:尿(細菌3+)、血算(WBC8500、CRP5.76、薬剤感受性尿菌培養実施 LVFX感受性あり)	
	7月	(Ⅱ)	肺炎	7/17	7	投薬:ミノサイクリン50mg1日2回×5日分、セフカヘン100mg1日3回×2日分 薬剤選択理由:KT=38°C~39°C台、悪寒 検査:血算(WBC11400、CRP11.35)、薬剤感受性検査菌培養なし
				7/24	7	投薬:セフカヘン300mg1日3回X7日分 薬剤の選択理由:KT=40.6°C、湿性咳嗽、右後肺雑音有 検査:採血(血算 WBC7900、CRP5.81) 薬剤感受性菌培養なし
				7/27	5	投薬:セフカヘン300mg1日3回X5日分 薬剤の選択理由:KT=39.5°C、右後中・下葉肺雑音有 検査:採血(血算 WBC20200、CRP0.42) 薬剤感受性菌培養なし
				7/28	4	投薬:セフカヘン300mg1日3回X4日分 薬剤の選択理由:KT=38.2°C、左後中下葉、右下葉肺雑音有 検査:採血(血算 WBC11700、CRP1.19) 薬剤感受性菌培養なし
		尿路感染症	7/7	7	投薬:ミノサイクリン50mg1日2回×7日分 薬剤選択理由:KT=38°C、尿悪臭、尿混濁、腎部叩打痛有 検査:尿(RBC10~19、WBC30~49、細菌2+) 血算(WBC10900、CRP16.02) 薬剤感受性尿細菌検査:MINO感受性有	
			7/10	7	投薬:ミノサイクリン50mg1日2回×7日分 薬剤選択理由:KT=37.3°C、尿濃縮、ルート内浮遊物有 検査:尿(RBC10~19、WBC20~29、細菌3+) 血算(WBC12300、CRP2.47) 薬剤感受性尿細菌検査:MINO感受性有	
			7/24	7	投薬:レボフロキサシン500mg1日2回×7日分 薬剤の選択理由:KT=37.5°C、尿臭有 検査:尿(RBC1~4/HF、WBC20~29)、血算(WBC10000、CRP0.25、薬剤感受性尿菌培養なし)	
8月	(Ⅱ)	肺炎	8/1	3	投薬:セフカヘン300mg1日3回X3日分 薬剤の選択理由:KT=38.2°C、左後中下葉、右下葉肺雑音有 検査:採血(血算 WBC11700、CRP0.42) 薬剤感受性菌培養なし	
			8/1	2	投薬:セフカヘン300mg1日3回X2日分 薬剤の選択理由:KT=39.5°C、右後中・下葉肺雑音有 検査:採血(血算 WBC20200、CRP4.31) 薬剤感受性菌培養なし	
			8/7	7	投薬:セフカヘン300mg1日3回X7日分 薬剤の選択理由:KT=37.9°C 検査:採血(血算 WBC13000、CRP1.19) 薬剤感受性菌培養なし	

介護老人保健施設アゼリア 令和2年度所定疾患施設療養費(Ⅱ)算定状況報告

年度/月	算定区分	算定疾患名	治療開始日	算定日数	内容
令和2年	8月	肺炎	8/21	7	投薬:セフカペン300mg1日3回X7日分 薬剤の選択理由:KT=39.5°C、慢性肺炎の繰り返し 検査:採血(血算 WBC15000、CRP6.13) 薬剤感受性菌培養なし
			8/21	7	点滴:ホタルR500ml 2回×6日分 セフトリアキソン1g+生理食塩水100ml1日1回×3日分 セフトリアキソン1g+生理食塩水100ml1日2回×3日分 投薬:セフカペン100mg1日3回×6日分 薬剤の選択理由:KT=39.2°C、左前下葉肺雑音有、白色～緑色痰中等量有 検査:血算(WBC17000、CRP5.79)、薬剤感受性咽頭培養実施 感受性有
			8/22	7	点滴:ホタルR500ml 2回×3日分 セフトリアキソン1g+生理食塩水100ml1日2回×1日分 投薬:セフカペン100mg3錠1日3回×4日分 薬剤の選択理由:KT=40.6°C、右後中下葉肺雑音有、白色～緑色痰中等量有 検査:血算(WBC9600、CRP10.11)、薬剤感受性咽頭培養実施 感受性有
		尿路感染症	8/17	7	点滴:ホタルR500ml 2回×1日分 セフトリアキソン1g+生理食塩水100ml1日2回×1日分 投薬:セフカペン300mg1日3回×6日分 薬剤の選択理由:KT=37.9°C 検査:検尿(RBC10-19/HF、WBC20-99/HF、細菌2+)、CRP21.41、血算(WBC30900)、薬剤感受性培養なし
			8/20	4	投薬:ミノマイシン50mg2T1日2回×4日分 薬剤の選択理由:KT=37.9°C、微熱続く 検査:検尿(RBC5-9/HF、WBC10-19、細菌3+) 血液検査(血算WBC10300 CRP2.32) 薬剤感受性尿菌培養実施 MINO感受性有
			8/25	7	投薬:レボフロキサシン500mg1日1回×7日分 薬剤の選択理由:KT=39.4°C、尿混濁著明 検査:尿(細菌3+)、血算(WBC1000、CRP2.36)、薬剤感受性尿菌培養実施 LVF感受性有
	8/25	7	投薬:レボフロキサシン500mg1日1回×7日分 薬剤の選択理由:KT=38.2°C、ルート内淡黄色尿、白色浮遊物有 検査:尿(細菌1+)、血算(WBC6900、CRP3.78)、薬剤感受性尿菌培養実施 LVF感受性有		
	9月	肺炎	9/22	7	点滴:ホタルR500ml 1日2回×7日分 セフトリアキソン1g+生理食塩水100ml1日2回×7日分 薬剤の選択理由:KT=38°C、右後中下葉肺雑音有、痰絡み咳 検査:血算(WBC6700、CRP17.15)、薬剤感受性菌培養なし
			9/24	7	ホタルR500ml 1日2回×5日分 ピペラシリン1g+生理食塩水100ml1日2回×5日分 投薬:レボフロキサシン(500)1日1回×2日分 薬剤の選択理由:KT=38.6°C、左後中下葉肺雑音有、湿性咳嗽有 検査:血算(WBC7000、CRP14.12)、薬剤感受性菌培養実施
		尿路感染症	9/17	7	投薬:ミノマイシン50mg4T1日2回×7日分 薬剤の選択理由:尿混濁、ルート内浮遊物有 検査:検尿(RBC20-29/HF、WBC>100、細菌2+) 血液検査(血算WBC24700 CRP9.97) 薬剤感受性尿菌培養実施 MINO感受性有(7/21実施分より)
	10月	肺炎	10/27	5	ホタルR500ml 1日2回×3日分 セフトリアキソン1g+生理食塩水100ml1日2回×3日分 投薬セフカペン(100)3T1日3回×2日分 薬剤の選択理由:KT=38.1°C、左側中下葉肺雑音有 検査:血算(WBC11000、CRP22.8)、薬剤感受性菌培養なし
		尿路感染症	10/23	7	投薬:レボフロキサシン500mg1T1日1回X7日分 薬剤の選択理由:KT=39.1°C、ルート内浮遊物有、尿混濁 検査:検尿(Prot3+、潜血3+、RBC10-19、WBC50-99、細菌3+)、採血(血算WBC9600、CRP4.0)、薬剤感受性 L VFX感受性有(8/25実施分)
10/23			7	点滴:ホタルR500ml 1日2回×7日分 セフトリアキソン1g+生理食塩水100ml1日2回×7日分 薬剤の選択理由:KT=38.4°C、尿混濁、尿臭強い 検査:検尿(潜血2+、WBC30-49、Bac3+)、採血(血算WBC13200、CRP26.11)、薬剤感受性菌培養なし	
11月	肺炎	11/1	2	投薬:セフカペン100mg3T3回×2日分 薬剤の選択理由:KT=38.1°C、左側中下葉肺雑音有 検査:血算(WBC11000、CRP22.8)、薬剤感受性菌培養なし	
	尿路感染症	11/6	7	投薬:レボフロキサシン(500)1T1回X7日分 薬剤の選択理由:血尿 検査:検尿(RBC1-4/HF、WBC>100、細菌3+)、薬剤感受性菌培養実施	
		11/16	7	投薬:セフカペン100mg3T3回×5日分 点滴:ホタルR500ml 2回×2日分 セフトリアキソン1g+生理食塩水100ml 2回×2日分 薬剤の選択理由:KT=38.8°C、尿混濁著重、尿臭有 検査:検尿(RBC5-9、WBC>100、細菌3+)、採血(血算WBC4800、CRP12.66)、薬剤感受性菌培養なし	
12月	尿路感染症	12/1	7	投薬:レボフロキサシン500mg1回×7日分 薬剤の選択理由:10月より尿路感染症繰り返しあり、薬剤感受性検査でLVFX感受性有のため 検査:検尿(WBC>100、Bac3+)、薬剤感受性菌培養検査実施:LVFX感受性有	

介護老人保健施設アゼリア 令和2年度所定疾患施設療養費(Ⅱ)算定状況報告

年度/月	算定区分	算定疾患名	治療開始日	算定日数	内容	
令和3年	1月	(Ⅱ)	肺炎	1/16	4	点滴:ポタコールR1000ml×4日分、セフトリアキソン2g・生理食塩水200ml×4日分 薬剤の選択理由:KT39℃台 右後肺上葉雑音有、肺炎疑い 抗生剤投与 検査:血液検査(CRP3.11ml/dl)、薬剤感受性菌培養検査なし
			尿路感染症	1/21	7	投薬:ミマイシン50mg2T1日2回×7日分 薬剤の選択理由:KT=38℃、濃縮尿、ルート内浮遊物有、淡黄色尿 検査:検尿(RBC10-19/HF、WBC20-29/HF、細菌-) 血液検査(血算WBC20900 CRP4.99) 薬剤感受性尿菌培養なし
				1/29	3	投薬:レボフロキサシン500mg1回×3日分 薬剤の選択理由:KT=39.2℃、ミルク状尿有 検査:CRP15.55、血算(WBC7700)、尿(pro4+、細菌3+)、薬剤感受性菌培養検査なし
	2月	(Ⅱ)	尿路感染症	2/1	4	投薬:レボフロキサシン500mg1回×4日分 薬剤の選択理由:KT=39.2℃、ミルク状尿有 検査:尿(RBC1-4/HF、WBC>100、細菌3+)、CRP15.55、血算(WBC7700)、薬剤感受性菌培養検査なし
				2/4	7	投薬:ミマイシン50mg2T1日2回×7日分 薬剤の選択理由:血尿、泥状尿に緑色沈殿物、パッド内に褐色付着物有 検査:検尿(RBC1-4/HF、WBC10-19/HF、細菌2+)、薬剤感受性尿菌培養実施 MINO感受性有
				2/11	7	投薬:セフカヘン100mg3T3回×7日分 薬剤の選択理由:KT=38.8℃、尿臭強 検査:検尿(RBC1-4/HF、WBC>100、細菌3+)、採血(血算WBC8700、CRP9.6)、薬剤感受性菌培養なし
	3月	(Ⅱ)	肺炎	3/2	7	点滴:ポタコールR1000ml×3日分、セフトリアキソン2g・生理食塩水200ml×1日分、セフトリアキソン1g・生理食塩水100ml×6日分 薬剤の選択理由:KT38.3℃、両肺雑音有、喀痰吸引実施、慢性肺炎 検査:血液検査(血算 WBC12000、CRP10.93ml/dl)、薬剤感受性菌培養なし
				3/4	7	投薬:オラセフ(250)3T3回×7日分 薬剤の選択理由:KT=39.7℃、左下葉肺雑音有 検査:血液検査(血算 WBC9400、CRP13.09)、薬剤感受性菌培養なし
				3/11	7	投薬:ケリス(200)2T2回×7日分 薬剤の選択理由:KT=39℃、左上葉肺雑音有 血液検査(血算WBC9200、CRP15.47)、薬剤感受性菌培養なし
			尿路感染症	3/4	7	投薬:レボフロキサシン(500)1T1回×7日分 薬剤の選択理由:尿臭強、尿色悪 検査:検尿(RBC30-49/HF、WBC>300 細菌(2+))、薬剤感受性尿菌培養なし
令和2年度集計		算定人数	48人			
		算定延日数	286日			
		疾患別人数		疾患別治療延日数		
		肺炎	23人	132日		
		尿路感染症	25人	154日		
		带状疱疹	0人	0日		

介護老人保健施設アゼリアアネックス 令和2年度 所定疾患施設療養費算定状況報告

年度		算定区分	算定疾患名	治療開始日	算定日数	内容		
令和2年	5月	I	尿路感染症	R2.5.22	7	診察、血液検査、CRP		
令和3年	1月	I	尿路感染症	R3.1.25	3	診察、投薬、尿検査		
令和2年度集計			算定件数	2人				
			算定延日数	10日				
			疾患別件数			疾患別治療延日数		
			肺炎	0人	0日			
			尿路感染症	2人	10日			
		带状疱疹	0人	0日				

介護老人保健施設ウイング 所定疾患施設療養費(Ⅱ)算定状況報告

年度・月	算定区分	算定疾患名	治療開始日	算定日数	内容
4月	(Ⅱ)	誤嚥性肺炎	R2.4.6	7	診察、注射：点滴(フィジオ750ml+生食500ml)/日持続、(セフトリアキソン1g+生食100ml)×2 4/7-8-9 内服：レボフロキサシン(250)1T/日 4/6-10-11-12 薬剤選択理由：誤嚥性肺炎歴あり、胃ろう造設対応歴あり、むせこみあり誤嚥性肺炎を疑い加療 検査：採血
		尿路感染症	R2.4.3	7	診察、注射：点滴(セフトリアキソン1g+生食100ml)×2 4/3-4-5-6-7-8 内服：レボフロキサシン(250)1T×1 4/9 薬剤選択理由：胃ろう挿入中、尿路感染症を繰り返しており、留置カテーテル内の浮遊物著明混濁、尿検査で診断 検査：尿検査
			R2.4.25	6	診察、注射：点滴(フィジオ500ml 4/25-26)、(フィジオ1250ml/日 4/27-28-29-30) 処置：U-バルンカテーテル挿入 内服：レボフロキサシン(250)1T×1 4/25-26-27-28-29-30 5/1 薬剤選択理由：食摂取量が少なく尿路感染症を繰り返している。オムツ内濃縮尿確認。 検査：尿一般 培養検査実施せず
			R2.4.28	7	診察、注射：点滴(フィジオ750ml 4/28-29) 処置：U-バルンカテーテル管理 内服：レボフロキサシン(250)1T×1 4/28-29-30 5/1-2-3-4 薬剤選択理由：胃ろう管理、心不全あり水分調整の影響あり、尿路感染症を繰り返しているため。 検査：尿一般 培養検査実施せず
5月	(Ⅱ)	誤嚥性肺炎	R2.5.30	6	診察、注射：点滴(フィジオ1500ml)/日持続 内服：レボフロキサシン(250)1T/日 5/30-31 6/1-2-3-4 薬剤選択理由：意識状態悪く食摂取困難による胃瘻造設されている。痰絡みが見られ、誤嚥を疑い胃ろう継続困難と判断。 検査：採血
		尿路感染症	R2.5.3	6	診察、注射：点滴(フィジオ1000ml/日持続点滴 5/4-5-6-7-8-9) 投薬：レボフロキサシン(250)1T×1 5/4-5-6-7-8-9 薬剤選択理由：胃がんのため食事・水分摂取量低下による尿路感染症と診断。摂取量低下のため補液必要。 検査：尿検査
			R2.5.5	7	診察、内服：レボフロキサシン(250)1T×1 5/5-6-7-8-9-10-11 薬剤選択理由：膀胱瘻挿入中。尿路感染症を繰り返し、U-カテーテル内の混濁・浮遊物著明、発熱により尿路感染症と診断。 検査：尿一般 培養検査実施せず
6月	(Ⅱ)	誤嚥性肺炎	R2.6.25	7	診察、注射(持続点滴)：フィジオ1500ml/日 (セフトリアキソン1g+生食100ml)×2 6/25-26-27-28-29 内服：レボフロキサシン(250)1T×1 6/30 薬剤選択理由：嚥下機能悪く39℃台熱発。痰絡みあり、誤嚥性肺炎歴あるため診断の上加療。 検査：採血
		尿路感染症	R2.6.8	7	診察、投薬、注射、検査 内服：レボフロキサシン(250)1T×1 6/8-9-10-11-12-13-14 点滴：フィジオ500ml 6/8 薬剤選択理由：入院中も突発的な熱発(39℃)、尿路感染症で加療歴あり。今回も突発的な高熱熱発で加療開始。検尿で確定診断。 検査：尿一般、培養検査行なわず
			R2.6.26	5	診察、投薬、注射、検査 内服：レボフロキサシン(250)1T×1 6/26-27-28-29-30 点滴：フィジオ500ml 6/27-28 薬剤選択理由：尿検査で潜血2+ 検査：尿一般 培養検査実施せず
7月	(Ⅱ)	誤嚥性肺炎	R2.7.27	3	診察、注射、禁食、検査 持続点滴：フィジオ1500ml/日 7/27-28-29 内服：レボフロキサシン(250)1T×1 7/27-28-29 薬剤選択理由：意識状態悪く食事摂取困難のため胃ろう造設されている。7/27嘔吐後熱発あり。痰絡みあり誤嚥可能性高く禁食、持続点滴。抗菌剤投与による加療。 検査：採血
令和2年 8月	(Ⅱ)	誤嚥性肺炎	R2.8.3	7	診察、投薬、注射：持続点滴、検査：血液検査 持続点滴：フィジオ1500ml/日 8/3-4-5-6-7-8-9 内服：レボフロキサシン(250)1T×1 8/3-4-5-6-7-8-9 薬剤選択理由：誤嚥性肺炎で入退院を繰り返している。経口摂取は限界も胃ろう造設望まず。熱発、食後の痰絡み誤嚥を疑い禁食・持続点滴施行。抗菌剤による加療。 検査：採血
			R2.8.9	7	診察、検査、投薬 内服：レボフロキサシン(250)1T×1 8/9-10-11-12-13-14-15 検査：採血、新型コロナウイルスPCR検査
			R2.8.20	7	診察、注射、処置、禁食、検査 持続点滴：フィジオ1250ml/日 8/20-21-22-23 胃ろう屋のみ再開のため点滴量減量 フィジオ750ml/日 8/24-25-26 処置：喀痰吸引 薬剤選択理由：意識状態悪く食事摂取困難で胃ろう造設されている。誤嚥性肺炎での入院歴あり施設再入所後痰絡み熱発あり胃ろう再開できず。 検査：血液検査 採血
		尿路感染症	R2.8.1	7	診察、投薬、注射、検査 持続点滴：フィジオ1250ml/日 8/1-2-3-4-5-6-7 内服：レボフロキサシン(250)1T×1 8/1-2-3-4-5 薬剤選択理由：食事摂取困難による脱水症状あり脱水補正を優先。検尿にて診断。 検査：血液検査、尿検査
			R2.8.17	7	診察、投薬、処置、検査 内服：レボフロキサシン(250)1T×1 8/17-18-19-20-21-22-23 処置：留置バルンカテーテルの交換 薬剤選択理由：濃縮尿を認めたため 検査：尿一般、培養検査実施せず
			R2.8.19	3	診察、投薬、注射、検査 持続点滴：フィジオ1250ml/日 8/19-20-21 内服：レボフロキサシン(250)1T×1 8/19-20-21 薬剤選択理由：濃縮尿、尿臭強く熱発。尿路感染症を疑い加療。食事の安全摂取が出来ず持続点滴。 検査：尿一般 培養検査実施せず 尿路感染症で医療機関入院

介護老人保健施設ウイング 所定疾患施設療養費(Ⅱ)算定状況報告

年度・月	算定区分	算定疾患名	治療開始日	算定日数	内容
9月	(Ⅱ)	尿路感染症	R2.9.3	5	診察、投薬、検査 内服:レボフロキサシン(250)1T×1 9/3・4・5・6・7 薬剤選択理由:濃縮尿で尿臭強く熱発。尿路感染症を疑い投薬 検査:尿一般 培養検査実施せず
			R2.9.8	7	診察、投薬、注射、処置、禁食、検査 内服:レボフロキサシン(250)1T×1 9/8・9・10・11・12・13・14 持続点滴施行 9/8・9・10・11・12・13・14 薬剤選択理由:U-カテーテル留置、尿路感染症を繰り返す。嚥下機能低下により禁食、持続点滴施行。尿路感染症と診断、抗菌剤投与。 検査:尿一般 培養検査実施せず 血液検査、PCR検査(COVID-19)
			R2.9.26	5	診察、投薬、検査 内服:レボフロキサシン(250)1T×1 9/26・27・28・29・30 薬剤選択理由:U-カテーテル挿入しており尿路感染リスクが高い。尿検査により診断。 検査:尿一般 培養検査実施せず、抗原検査(COVID-19)
10月	(Ⅱ)	誤嚥性肺炎	R2.10.26	6	診察、投薬、注射、検査 持続点滴:フジジオ1250~1500ml/日 10/26・27・28・29・30・31 内服:レボフロキサシン(250)1T×1 10/26・27・28・29・30・31 薬剤選択理由:誤嚥性肺炎を繰り返している。経口摂取は限界。胃ろう造設希望されず。食後の痰絡みが多く、誤嚥疑われ禁食、持続点滴施行。熱発もあるため抗菌剤加療。 検査:血液検査
			R2.10.27	5	診察、投薬、注射 持続点滴:フジジオ1250ml/日 10/27・28・29・30・31 内服:レボフロキサシン(250)1T×1 10/27・28・29・30・31 薬剤選択理由:誤嚥性肺炎による入退院を繰り返している。経口摂取は限界。胃ろう造設希望されず。食後の痰絡みが多く、誤嚥疑われ禁食、持続点滴施行。熱発もあるため抗菌剤加療。
11月	(Ⅱ)	尿路感染症	R2.11.5	7	診察、内服、注射、検査 内服:レボフロキサシン(250)1T×1 11/5・6・7・8・9・10・11 点滴:フジジオ500ml/日 11/5・6・7 薬剤選択理由:全身状態悪く11/5医療機関受診により尿路感染症の診断あり(炎症反応+、尿検査 細菌2+) 検査:尿一般、血液検査、培養検査行なわず 胸部レントゲン(医療機関受診時)
			R2.11.24	7	診察、内服、注射、検査 内服:レボフロキサシン(250)1T×1 11/24・25・26 セフカベン3T×3 11/27・28・29・30 持続点滴:フジジオ1000ml/日 11/24・25・26・27・28・29・30 薬剤選択理由:尿閉にてU-バルーンカテーテル挿入。尿路感染症の診断にて加療。 検査:尿一般、培養検査行なわず 血液検査
12月	(Ⅱ)	誤嚥性肺炎	R2.12.9	7	診察、投薬、注射、検査 持続点滴:フジジオ1250ml~750ml/日 12/9・10・11・12・13・14・15 投薬:レボフロキサシン(250)1T×7日 薬剤選択理由:嚥下機能悪くむせこみあり。禁食・持続点滴・抗生剤での加療を実施 検査:血液検査、インフルエンザ検査
		尿路感染症	R2.12.6	7	診察、投薬、注射、処置、検査 持続点滴:フジジオ1250ml/日 12/6・7、フジジオ1500ml/日 12/8・9・10・11・12 内服:レボフロキサシン(250)1T×7日 処置:U-バルーンカテーテル挿入 薬剤選択理由:尿閉にてU-バルーンカテーテル挿入、濃縮尿流出。尿路感染症診断にて加療。 検査:尿一般、培養検査実施せず 血液検査
			R2.12.14	7	診察、投薬、検査 内服:レボフロキサシン(250)1T×1×7日 薬剤選択理由:U-バルーンカテーテル挿入中。血尿見られ、尿路感染症加療開始。次週泌尿器科受診予定。 検査:尿一般 培養検査実施せず
			R2.12.25	7	診察、投薬、注射、処置、検査 内服:レボフロキサシン(250)1T×7日 持続点滴:フジジオ750ml/日×7日 処置:U-バルーンカテーテル挿入 薬剤選択理由:尿閉ありカテーテル挿入施行。尿検査、採血結果による診断。 検査:尿一般、血液検査

介護老人保健施設ウイング 所定疾患施設療養費(Ⅱ)算定状況報告

年度・月	算定区分	算定疾患名	治療開始日	算定日数	内容
令和3年	1月	誤嚥性肺炎	R3.1.22	7	診察、内服、注射、検査 内服:レボフロキサシン(250)1T×7日 持続点滴:フィジオ1500ml/日×7日 薬剤選択理由:誤嚥性肺炎で入退院を繰り返している。経口摂取は限界。熱発・痰絡み誤嚥あり禁食・持続点滴抗菌剤加療とする。 検査:血液検査
			R3.1.22	7	診察、注射、検査 持続点滴:フィジオ1250ml/日、セフトリアキソン1g+生食100ml/朝 ×7日 薬剤選択理由:誤嚥性肺炎で入退院を繰り返しており、施設内加療も繰り返している。経口摂取は限界、胃ろう造設望まれず。熱発、痰絡みあり誤嚥疑われ禁食・持続点滴・抗菌剤加療とした。 検査:血液検査
			R3.1.26	7	診察、注射、検査 持続点滴:フィジオ1500ml/日、セフトリアキソン1g+生食100ml/朝 ×7日 薬剤選択理由:誤嚥性肺炎で入退院を繰り返しており、施設内加療も繰り返している。経口摂取は限界、胃ろう造設望まれず。熱発、痰絡みあり誤嚥疑われ禁食・持続点滴・抗菌剤加療とした。 検査:血液検査
		尿路感染症	R3.1.1	7	診察、投薬、点滴、検査 投薬:レボフロキサシン(250)1T×1×7日 持続点滴:フィジオ1500ml/日×7日 薬剤選択理由:U-カテーテル挿入中。尿路感染を繰り返す。バルーンカテーテル尿混濁著明により診断 検査:尿一般
			R3.1.11	7	診察、投薬、注射、処置、検査 投薬:レボフロキサシン(250)1T×1×7日 点滴:フィジオ500ml/日×7日 処置:導尿 薬剤選択理由:尿閉のため導尿。尿混濁著明により尿路感染症で加療。 検査:尿一般
	2月	肺炎	R3.2.1	7	診察、注射、処置、検査 持続点滴:フィジオ1500ml×7日・50%ブドウ糖40ml×7日 処置:喀痰吸引 注射選択理由:誤嚥性肺炎繰り返し再燃。経口摂取が限界。発熱・痰絡みあり誤嚥が疑われ禁食して加療。 検査:血液検査。
			R3.2.13	3	診察、注射 持続点滴:フィジオ1250ml・セフトリアキソン1g+生食100ml)×3日 注射選択理由:誤嚥性肺炎繰り返し再燃入院歴あり。誤嚥性肺炎疑いによる禁食・持続点滴・抗生剤点滴実施。
		尿路感染症	R3.2.5	7	診察、投薬、注射、検査 内服:レボフロキサシン(250)1T×7日 持続点滴:フィジオ 薬剤選択理由:体調不良から食事、水分摂取量低下。熱発あり、尿量低下により加療。 検査:尿一般、血液検査
	3月	(Ⅱ)	尿路感染症	R3.3.7	7

令和2年度集計	算定件数	37人	
	算定延日数	235日	
	疾患別件数		疾患別治療延日数
	肺炎(誤嚥性肺炎)	14人	93日
	尿路感染症	23人	142日
帯状疱疹	0人	0日	

介護老人保健施設オキドキ 令和2年度所定疾患施設療養費算定状況報告

算定年度	算定区分	算定疾患名	治療開始日	算定日数	内容	
令和2年	4月	I	尿路感染症	R2.4.1	7	診察、検尿、投薬(レボフロキサシン(250))2T×7日
				R2.4.1	4	診察、検尿、投薬(レボフロキサシン(250))2T×4日
				R2.4.25	6	診察、検尿、投薬(セフカペンゾホキシル(100))3T×6日
	5月	I	肺炎	R2.5.2	7	診察、採血、胸部レントゲン、投薬(レボフロキサシン(250))2T×7日
				R2.5.2	7	診察、検尿、投薬(レボフロキサシン(250))2T×7日
			尿路感染症	R2.5.7	7	診察、検尿、投薬(セフカペンゾホキシル(100))3T×7日
				R2.5.12	7	診察、検尿、投薬(セフカペンゾホキシル(100))3T×7日
	6月	I	尿路感染症	R2.5.29	4	診察、検尿、投薬(ファロム(200))3T×4日
				R2.6.18	7	診察、検尿、投薬(セフカペンゾホキシル(100))3T×7日
	7月	I	尿路感染症	R2.7.2	7	診察、検尿、投薬(フロモックス(100))3T×7日
				R2.7.6	7	診察、検尿、投薬(セフカペンゾホキシル(100))3T×7日
				R2.7.20	7	診察、検尿、投薬(セフカペンゾホキシル(100))3T×7日
	8月	I	尿路感染症	R2.8.8	4	診察、検尿、投薬(ミマイシン(50))4T×4日
				R2.8.12	7	診察、検尿、投薬(レボフロキサシン(250))2T×7日
				R2.8.27	5	診察、検尿、投薬(ホスミン(250))8T4×5日
	9月	I	尿路感染症	R2.9.9	6	診察、検尿、投薬(セフカペンゾホキシル(100))3T3×6日
				R2.9.17	7	診察、検尿、投薬(セフカペンゾホキシル(100))3T3×7日
				R2.9.20	4	診察、検尿、投薬(セフカペンゾホキシル(100))3T3×4日
	10月	I	尿路感染症	R2.10.1	5	診察、検尿、投薬(セフカペンゾホキシル(100))3T3×5日
				R2.10.3	7	診察、検尿、投薬(セフカペンゾホキシル(100))3T3×7日
				R2.10.3	7	診察、検尿、投薬(セフカペンゾホキシル(100))3T3×7日
				R2.10.5	6	診察、検尿、投薬(セフカペンゾホキシル(100))3T3×6日
				R2.10.10	6	診察、検尿、投薬(セフカペンゾホキシル(100))3T3×6日
	11月	I	尿路感染症	R2.10.28	6	診察、検尿、投薬(セフカペンゾホキシル(100))3T3×6日
				R2.11.16	7	診察、検尿、投薬(セフカペンゾホキシル(100))3T3×7日
				R2.11.19	5	診察、検尿、投薬(セフカペンゾホキシル(100))3T3×5日
	12月	I	尿路感染症	R2.11.26	6	診察、検尿、投薬(レボフロキサシン(250))2T×6日
R2.12.3				4	診察、検尿、投薬(ファロム(200))3T3×4日	
R2.12.7				6	診察、検尿、投薬(セフカペンゾホキシル(100))3T3×6日	
令和3年	1月	I	尿路感染症	R2.12.7	6	診察、検尿、投薬(セフカペンゾホキシル(100))3T3×6日
				R3.1.5	2	診察、検尿、注射(ラクトリンゲル500ml・ロセフィン1g)2×2日
				R3.1.13	5	診察、検尿、投薬(セフカペンゾホキシル(100))3T3×5日
	2月	I	気管支肺炎	R3.1.25	6	診察、検尿、投薬(セフカペンゾホキシル(100))3T3×6日
			尿路感染症	R3.2.1	7	診察、胸部X-P、注射(ロセフィン1g+生理食塩水100ml)2×7日
	3月	I	尿路感染症	R3.2.6	6	診察、検尿、投薬(セフカペンゾホキシル(100))3T3×6日
R3.3.2				7	診察、検尿、注射(ロセフィン1g+生理食塩水100ml)2×7日	
R3.3.3				6	診察、検尿、投薬(セフカペンゾホキシル(100))3T3×6日	
令和2年度集計	算定件数		38人			
	算定延日数		222日			
	疾患別件数		疾患別治療延日数			
	肺炎	2人	14日			
	尿路感染症	36人	208日			
带状疱疹	0人	0日				

介護老人保健施設アメイズ 所定疾患施設療養費(Ⅱ)算定状況報告

年度・月	算定区分	算定疾患名	治療開始日	算定日数	内容
令和2年	(Ⅱ)	尿路感染症	R2.4.13	7	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×7日 薬剤の選択理由:尿テストペ検査にて尿路感染症と診断。バルンカテーテル滞留のため。尿蛋白+、尿糖+-、PH7.0、尿潜血2+ 検査:尿一般、培養検査行なわず
			R2.4.17	5	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×5日、アドナ(30)3T×5日、 トランサミン(250)3T×5日 薬剤の選択理由:尿テストペ検査にて尿路感染症と診断。血尿。 検査:尿一般、培養検査行なわず
	(Ⅱ)	尿路感染症	R2.5.8	7	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×7日、アドナ(30)2T2×7日、 トランサミン(250)2T2×7日 薬剤の選択理由:血尿、排尿時痛あり。 検査:尿一般、培養検査行なわず
			R2.5.9	7	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×7日、アドナ(30)3T3×7日、 トランサミン(250)3T3×7日 薬剤の選択理由:尿テストペ検査にて尿路感染症と診断。血尿。 尿蛋白2+、尿糖-、PH9.0、尿潜血3+。 検査:尿一般、培養検査行なわず
	(Ⅱ)	尿路感染症	R2.6.1	7	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×7日 薬剤の選択理由:尿テストペ検査にて尿路感染症と診断。血尿。 尿蛋白+、尿糖-、PH8.0、尿潜血3+ 検査:尿一般、培養検査行なわず
			R2.6.10	5	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×5日、アドナ(30)2T2×5日、 トランサミン(250)2T2×5日 薬剤の選択理由:尿テストペ検査にて尿路感染症と診断。血尿。 検査:尿一般、培養検査行なわず
			R2.6.12	5	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×5日、アドナ(30)3T×5日、 トランサミン(250)3T×5日 薬剤の選択理由:尿テストペ検査にて尿路感染症と診断。血尿。 尿蛋白3+、尿糖-、PH8.0、尿潜血3+ 検査:尿一般、培養検査行なわず
			R2.6.22	7	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×7日 薬剤の選択理由:尿テストペ検査にて尿路感染症と診断。血尿。 尿蛋白+-、尿糖-、PH8.0、尿潜血3+ 検査:尿一般、培養検査行なわず
	(Ⅱ)	尿路感染症	R2.7.15	7	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×7日 薬剤の選択理由:尿テストペ検査にて尿路感染症と診断。血尿。 尿蛋白2+、PH8.0、尿潜血2+ 検査:尿一般、培養検査行なわず
			R2.7.17	6	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×6日、アドナ(30)3T×6日 薬剤の選択理由:尿テストペ検査にて尿路感染症と診断。血尿。 尿蛋白2+、尿糖-、PH8.0、尿潜血3+ 検査:尿一般、培養検査行なわず
	(Ⅱ)	尿路感染症	R2.8.7	7	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×7日 薬剤の選択理由:尿テストペ検査にて尿路感染症と診断。尿蛋白+-、 尿糖-、PH9.0、尿潜血+ 検査:尿一般、培養検査行なわず
	(Ⅱ)	尿路感染症	R2.9.4	7	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×7日 薬剤の選択理由:尿テストペ検査にて尿路感染症と診断。尿蛋白+-、 尿糖-、PH8.0、尿潜血+ 検査:尿一般、培養検査行なわず
			R2.9.17	7	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×7日 薬剤の選択理由:尿テストペ検査にて尿路感染症と診断。尿蛋白+-、 尿糖-、PH8.0、尿潜血3+ 検査:尿一般、培養検査行なわず

介護老人保健施設アメイズ 所定疾患施設療養費(Ⅱ)算定状況報告

年度・月	算定区分	算定疾患名	治療開始日	算定日数	内容	
令和3年	10月	(Ⅱ)	尿路感染症	R2.10.6	7	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×7日 薬剤の選択理由:尿テストペ検査にて尿路感染症と診断。尿蛋白3+、尿糖-、PH8.0、尿潜血2+ 検査:尿一般、培養検査行なわず
				R2.10.6	7	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×7日 薬剤の選択理由:尿テストペ検査にて尿路感染症と診断。尿蛋白+-、尿糖-、PH9.0、尿潜血+ 検査:尿一般、培養検査行なわず
	11月	(Ⅱ)	尿路感染症	R2.11.4	5	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×5日、アドナ(30)3T3×5日、アセトアミノフェン(300)3T3×3日 薬剤の選択理由:尿テストペ検査にて尿路感染症と診断。尿蛋白3+、尿糖-、PH8.0、尿潜血3+ 検査:尿一般、培養検査行なわず
				R2.11.16	7	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×7日、アセトアミノフェン(300)3T3×7日 薬剤の選択理由:尿路感染症と診断。尿混濁あり。 検査:尿一般、培養検査行なわず
				R2.11.19	7	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×7日 薬剤の選択理由:尿路感染症と診断。尿蛋白3+、尿糖-、PH8.0、尿潜血3+ 検査:尿一般、培養検査行なわず
				R2.11.27	7	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×7日 薬剤の選択理由:尿路感染症と診断。尿蛋白+、尿糖-、PH8.0、尿潜血2+ 検査:尿一般、培養検査行なわず
				R2.11.30	7	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×7日、アドナ(30)3T3×5日、トラネキサム酸(250)3T3×5日 薬剤の選択理由:尿路感染症と診断。血尿。 検査:尿一般、培養検査行なわず
	12月	(Ⅱ)	尿路感染症	R2.12.8	7	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×7日 薬剤の選択理由:尿路感染症と診断。血尿あり。尿蛋白+、尿糖-、PH8.0、尿潜血3+ 検査:尿一般、培養検査行なわず
				R2.12.28	7	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×7日 薬剤の選択理由:尿路感染症と診断。尿蛋白+、尿糖-、PH9.0、尿潜血+ 検査:尿一般、培養検査行なわず
	1月	(Ⅱ)	尿路感染症	R3.1.2	3	診察、投薬:セフトリアキソンナトリウム1g2×3日、ラクテックG500ml2×3日 薬剤の選択理由:尿テストペによる検査。尿路感染症と診断。血尿あり。尿蛋白3+、尿糖-、PH7.0、尿潜血3+ 検査:尿一般、培養検査、薬剤感受性検査行なわず
R3.1.5				7	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×7日 薬剤の選択理由:尿路感染症と診断。尿蛋白2+、尿糖-、PH8.0、尿潜血3+ 検査:尿一般、培養検査、薬剤感受性検査行なわず	
R3.1.20				7	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×7日 薬剤の選択理由:尿テストペにて尿路感染症と診断。尿蛋白2+、尿糖-、PH8.0、尿潜血2+ 検査:尿一般、培養検査、薬剤感受性検査行なわず	
R3.1.22				7	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×7日 薬剤の選択理由:尿テストペにて尿路感染症と診断。血尿あり。尿蛋白3+、PH7.0、尿潜血3+ 検査:尿一般、培養検査、薬剤感受性検査行なわず	
2月	(Ⅱ)	尿路感染症	R3.2.24	5	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×5日、アドナ(30)3T×5日 薬剤の選択理由:尿テストペ検査にて尿路感染症と診断。頻尿あり。尿蛋白3+、尿糖-、PH8.0、尿潜血3+ 検査:尿一般、培養検査、薬剤感受性検査行なわず	

介護老人保健施設アメイズ 所定疾患施設療養費(Ⅱ)算定状況報告

年度・月		算定区分	算定疾患名	治療開始日	算定日数	内容		
3月	(Ⅱ)	尿路感染症	R3.3.8	7	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×7日 薬剤の選択理由:尿テストにて尿路感染症と診断。尿蛋白2+、尿糖-、PH 8.0、尿潜血3+ 検査:尿一般、培養検査、薬剤感受性検査行なわず			
			R3.3.15	7	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×7日 薬剤の選択理由:尿テストにて、尿路感染症と診断。尿蛋白3+、尿糖-、PH8.0、尿潜血2+ 検査:尿一般、培養検査、薬剤感受性検査行なわず			
			R3.3.17	7	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×7日 薬剤の選択理由:尿テストにて、尿路感染症と診断。尿蛋白3+、尿糖-、PH8.0、尿潜血+ 検査:尿一般、培養検査、薬剤感受性検査行なわず			
			R3.3.22	5	診察、投薬:レボフロキサシン(250)1T×5日 薬剤の選択理由:尿テストにて、尿路感染症と診断。尿蛋白3+、尿糖-、PH7.0、尿潜血3+ 検査:尿一般、培養検査、薬剤感受性検査行なわず			
令和2年度集計			(Ⅱ)算定件数	31人				
			(Ⅱ)算定延日数	200日				
			疾患別件数		疾患別治療延日数			
			肺炎	0人	0日			
			尿路感染症	31人	200日			
帯状疱疹	0人	0日						